

## ジャン・プルーヴェ研究 その4

## TOTAL サービスステーションにおけるシリンダー状建物

TOTAL サービスステーション シリンダー状建物 ポリエステルパネル

正会員 ○河辺 哲雄\*1  
同 石田 潤\*2  
同 岩岡 竜夫\*3

## 1 はじめに

本編は、前編に引き続き TOTAL サービスステーションにおけるシリンダー状の建物に関して発表する。

このシリンダー状の建物は、敷地のほぼ中央に位置し<sup>1)</sup>、1階は主に給油をする人々が利用するサービスエリア(売店・トイレ)、2階は管理事務所兼居住スペースとして計画された<sup>2)</sup>。また、この建物は正多角柱の形をしていることから <TOUR PROUVÉ> と呼ばれた<sup>3)</sup>。

註 \*1…前編図1の全体配置図による \*2…石田信談より \*3…JEAN PROUVÉ EN LORRAINE

## 2 シリンダー状建物について

図1は、Toulouse 近郊に建てられたシリンダー状建物のパースであり、右奥に矩形的の建物が見える。図2の写真は、それとは異なるが、ローヌ地方の Messein に現存する1971年に建てられたサービスステーションの外観である。

図3は1階平面図、図7は模型であり、建物全体がコア部と放射状にのびる内壁パネル、および13角形の外壁のパネルにより構成されていることが分かる。また平面図より、外壁パネルの幅=2400、コア部の直径=1300、廊下の幅=1000、部屋の奥行き=5100、というサイズを読み取る事ができ、建物全体は直径約13.5Mの柱体であったことが分かる。この外壁パネルは、Saint-Gobain社との協同研究によるプラスチックのポリエステルパネルによるもので<sup>3)</sup>、図14のスケッチより、断熱材込みのサンドイッチパネルであることが分かる。

図4から図6は、図3の1階プランに至るまでのプロセスである。図8は開口部と一体化した外壁パネル立面図である。図9および図10のスケッチでは、赤と青で立面のパターンを塗りわけており、図8と同様、立面を構成するパネルと開口部によるパターンを考察しているものである。図11上部のスケッチもまた、立面のパターンの考察と思われ、下部のスケッチは屋根をコアがどのように支えるかという考察である。図12はコア部と内壁パネルの構成を示しており、図13は内壁パネルと外壁パネルの取り付け部のディテールのスケッチである。図14は上下の外壁パネルの接合部のディテールを示すものであり、パネルの端部の形を反転させることにより、上下を合体させた。図15のスケッチより、初期の案では屋根をペトロフ屋根により構成し、そこから外壁をもたせるようなシステムを考えていたことが分かる。

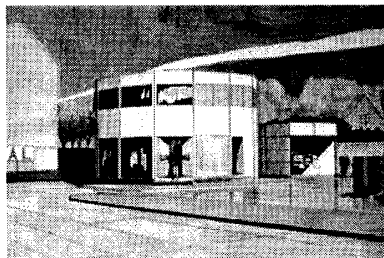


図1 シリンダー状建物のパース (スライド)

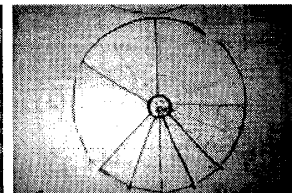


図4 シリンダー状建物の平面図 (スライド)



図2 シリンダー状建物の外観写真 (スライド)

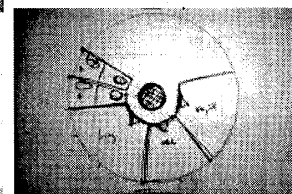


図5 シリンダー状建物の平面図 (スライド)

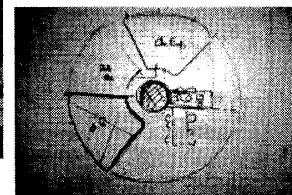


図6 シリンダー状建物の平面図 (スライド)

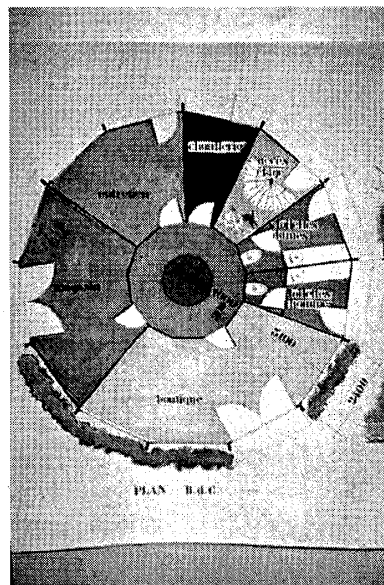


図3 シリンダー状建物の平面図 (スライド)

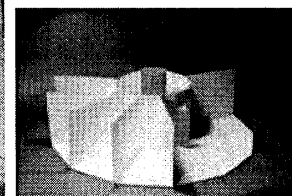


図7 シリンダー状建物の模型 (スライド)

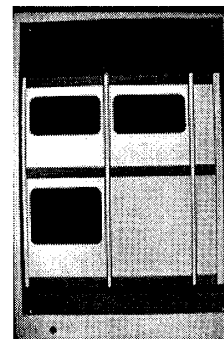


図8 シリンダー状建物の立面図 (スライド)

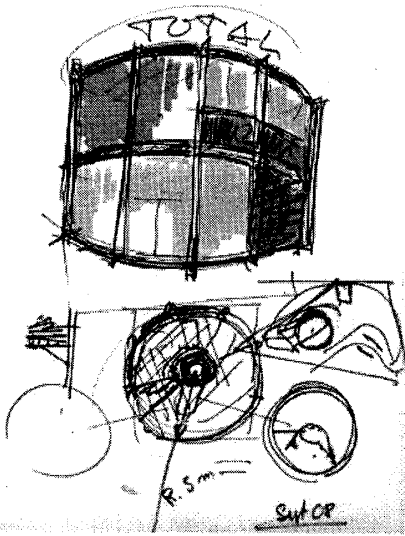


図9 シリンダー状建物のエスキース (スケッチ) 210×270  
トレーシングペーパー/サインペン・マーカー (赤、青)

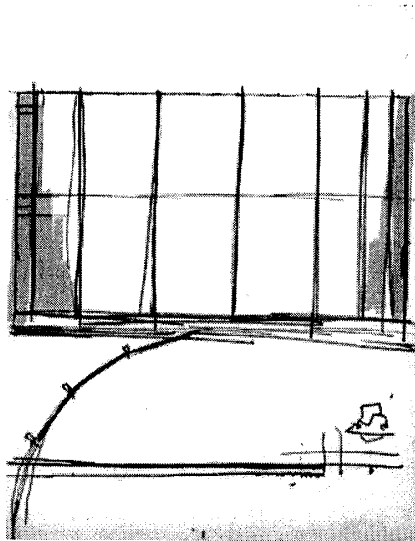


図10 シリンダー状建物のエスキース (スケッチ) 210×270  
トレーシングペーパー/サインペン・マーカー (青)

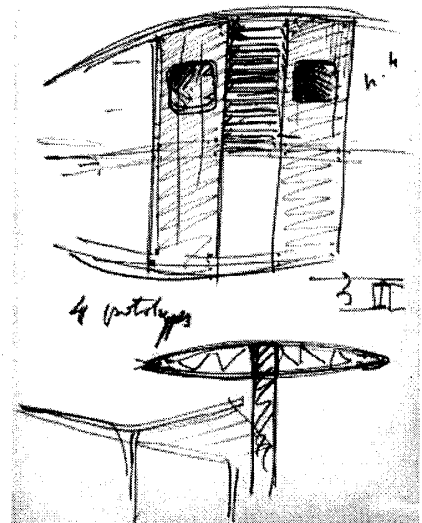


図11 シリンダー状建物のエスキース (スケッチ)  
210×270 紙/サインペン

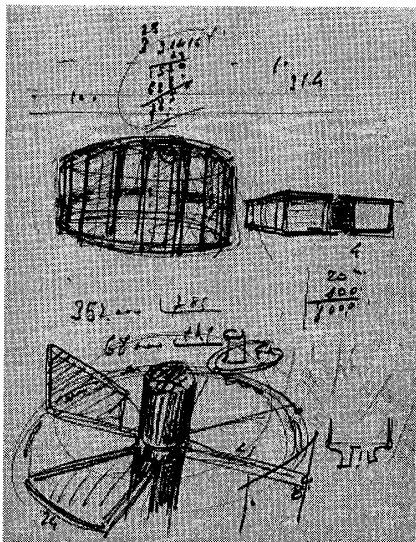


図12 シリンダー状建物のエスキース (スケッチ)  
210×270 紙/サインペン

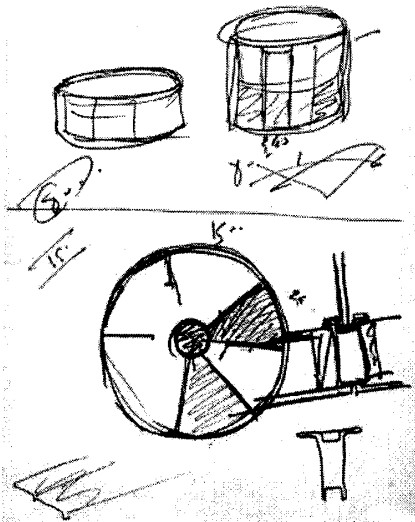


図13 シリンダー状建物のエスキース (スケッチ)  
210×270 紙/サインペン

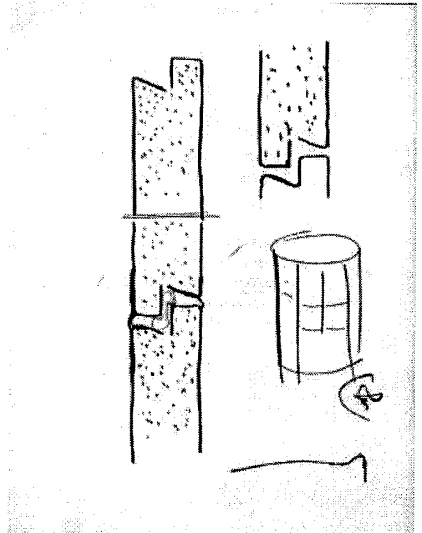


図14 シリンダー状建物のエスキース (スケッチ)  
210×270 紙/サインペン

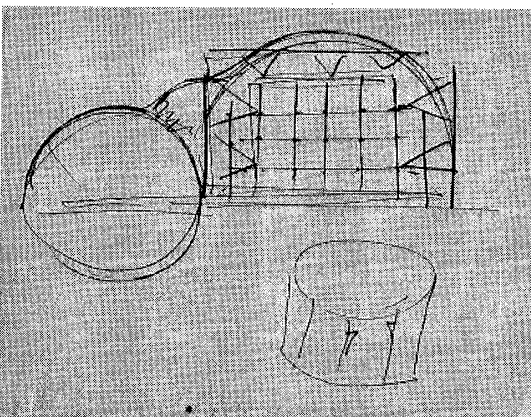


図15 シリンダー状建物のエスキース (スケッチ)  
210×270 紙/サインペン

\*1 河辺哲雄設計室  
\*2 LINK 建築設計工房  
\*3 東海大学助教授

TETSUO KAWABE ARCHITECTS  
LINK Architectural Associates  
TOKAI UNIVERSITY.